

外部評価 地域かかわりシート②（結果まとめ様式）

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	3		
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の 2/3 以上の参加が望ましい	2		
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取り組みが行われていましたか？	2		
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	2		

【上記4つのチェック項目に関する意見】

※結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過（姿勢）に対する意見

- ・あまりできていない。
- ・ほとんどできていない人もいる。

【前回の改善計画に対して意見】

※前回の改善計画に対しての取り組み結果に対する意見

- ・前回の改善計画を理解・認識できていない職員もいる。
- ・日々の業務の中で、頭に計画を意識しながら取り組むのは難しいのでは？

【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

※今回の改善計画が具体的かつ達成可能な計画になっているかについての意見

- ・改善計画の記載が難しい。
- ・小さなことから少しずつでも良いので、取り組みやすい表現にした方がよい。

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

- ・いつも忙しそうで、時間に余裕がないと見受けられる。自己評価までいきつかないのではないかな？
- ・自己評価って難しいと思います。「できている」と言い切れないし、「できていない」とも言い切れないと思います。

【改善計画】※後日記入

- ・「自己評価」に取り組む易くするため、「今年度の改善計画」を周知する方法を検討し、一年間を通して認識して取り組める体制を整える。

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	5		
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	5		
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	5		
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	5		
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	1	4	

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・問題ない。
- ・コロナ禍も過ぎ、少しは良い兆しがみられるが、インフルエンザや他の感染症も多く、なかなかオープンな空間づくりは難しいと思う。
- ・鍵はかかっている。利用者様の安全確保のために掛けた方が良いと思う。
- ・「取り組んでいる」の問いかけには、全て「はい」だと思う。

【前回の改善計画】

コロナ感染終息後には、事業所も以前のように開かれた事業所にするために、いつでも気軽に立ち寄れ、見学もでき、体験希望者には体験していただき、地域との交流も以前のようにできるように、お互い情報を共有し、関係性を保つ。そしてコロナ禍でも、地域と交流ができるように、何ができるかをこれから検討、調整していく。

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

- ・問題ないと思う。
- ・臭いはしない。気にならない。近くの工場の臭いの方が気になる。
- ・これ以上の良い環境の場所は無い。

【今回の改善計画】※後日記入

- ・清潔を保ち、感染症対策に留意しながら、利用者様同士が交流しやすいようにレイアウト等も随時対応する。
- ・職員間でスピーチロックを注意しあい、利用者様にとって居心地の良い空間作りに取り組む。

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	5		
1	職員はあいさつできていますか？	5		
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	5		
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	4		1
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	5		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・相談できる内容を具体的に示して欲しい。
- ・朝夕の挨拶など、よくできていると思う。外国人のスタッフが笑顔で挨拶してくれて嬉しく感じる。
- ・「相談できる場所」と知られていない。どのようなことを相談できるのかを知ってもらう。地域に声掛けしていく。地域にパンフレットを配布したり、祭りで歌を歌って事業所のアピールを行う。
- ・どのように行動を起こすのか、具体的に検討する。

【前回の改善計画】

コロナ禍が落ち着き、地域との交流が再開できるようになれば、引き続き、地域に向けて事業所の紹介や、スタッフと利用者が一緒に地域の行事やイベントに参加し、地域との交流を深め、地域の困りごと等にも敏感に対応し、地域とのつながりを深める。

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

- ・地域にパンフレットを回してもらう。(回覧板の活用など)
- ・夏祭りや転ばん体操などに参加できている。
- ・住民にとっても、相談できる場所と知っている方がメリットがあると思う。
- ・「困りごと」と言っても、何を訊いていいのか、何を発言してよいかわからない。

【改善計画】※後日記入

- ・地域の催し物全てへの参加を目指し、交流を強化する。
- ・パンフレット等を活用し、「小多機」の機能の良さをアピールし、「困りごと」を相談しやすい環境を作る。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	5		
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	4	1	
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	4		1
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	5		
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	5		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・ドライブツアーに出かけたり、地域の行事に参加しているので、閉じ込めているとは思わない。
- ・近隣住民間でも、本当に困っているのかどうか迄はわからない。
- ・少しでも情報があれば、対応に努めている。

【前回の改善計画】

利用者様の地域に出向き、近隣の方や民生委員さんに、利用者様の今までの暮らし等の情報を聴き取り、以前と同じように自宅で生活できるように、地域とも協力して支援していく。

【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】

- ・運営推進会議などで困った方が居ないかを伝えたり、意見交換や情報を伝えていきたい。

【改善計画】※後日記入

- ・自宅（地域）で生活を継続できるように、全員が「小多機を熟知」し、困りごとへの対応力を身に付ける。
- ・職員間で「困りごと」の情報を共有し、迅速に対応する。

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	4		
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	4		
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	3		1
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	4		
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	4		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・事例検討まではできていない。
- ・個人情報の問題も有るので、事例検討は難しい。我々が聴いても良いのかと思う。
- ・心配ごと（人）があれば、事例検討は行う。
- ・必要な時はいつでも対応する。
- ・紹介で終わる場合もある。

【前回の改善計画】

運営推進会議を行い（書面も含む）、運営推進委員様方に地域での取り組みや意見等をお聴きし、本年度も引き続き、地域で心配な方や困り事のある方の事例等、情報提供していただき、運営推進委員様方と一緒に問題解決に取り組み、いち早い改善につなげる。

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

- ・民生委員さん、地域担当役員の方で、気になった方などを名前を挙げ、提案したいと思う
- ・チラシなど作成し、公民館に配布することも良いかなと思う。今、集落の民生委員さんだけだが、他の集落の民生委員さんにもたまに参加していただいたり、資料をお願いするのも良いかなと思います。

【改善計画】※後日記入

- ・運営推進委員の方々や地域と連携を図り、小さな問題が大きな問題になる前に、改善・解決できるように取り組む。
- ・問題が上がってきやすいように、事業所のPRを行う。

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	5		
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	5		
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	3	2	
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	3	2	
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	5		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・防災計画は詳しいところまでわからない。
- ・湊地区で午前中に防災訓練を行っている。

【前回の改善計画】

コロナ感染が終息後は、事業所で行われている防災訓練に近隣の地域の方々にも参加していただけるように案内し、万が一の災害時にも、スムーズに対応できるように一緒に執り行えるようにする。また、地域で万が一の災害時（風水害等）には、光里苑が災害非難場所に可能な場合は、すぐに対応する。引き続き毎年行われている地域の防災訓練に、参加できるように時間調整し参加させていただく。また地域の方々にも事業所の防災訓練に参加していただけるように案内し、地域との連携が取れるように関係性を深める。

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

- ・地域で一番高い建物なので、津波の時などは此处が避難所になる。
- ・エレベーターが使えない状況になると、高齢者が屋上まで上がるのは大変。
- ・普段から訓練を行い、スタッフの行動を認識しておくのが大事。
- ・地域の方の協力がないと避難できない。協力はしたい。
- ・普段平穏に過ごしているときは特に思い浮かばないが、他県で災害が起こった場合など、「此処の地域にはあの建物がある。一番頑丈だ。」と頭に浮かび、頼りにしていることに気が付く。
- ・地域の人に応援を求める（依頼する）体制を整えておく必要がある。近隣工場の若い人たちに、応援を求められるようにしておく。

【改善計画】※後日記入

- ・地域の防災訓練に参加できる体制をつくる。
- ・万が一の場合に備え、地域の方々にも参加していただける防災訓練を取り入れる。